

(様式1-2) 新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		畑地帯総合土地改良		路河川名等		—				
事業毎の通番		1	市町村名	山ノ内町	箇所名(ふりがな)	夜間瀬(よませ)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	2-1① 成長産業の創出・振興			SDGsの関連目標	  				
	関連する計画や重点施策	長野県食と農業農村振興計画 長野県農業農村整備計画			関連する事業プロジェクト	第6次山ノ内町総合計画				
	現状と課題	地区全体の用水を一元管理する用水管理・散水制御システムは、平成20年の整備から16年が経過し、電子部品の故障が頻発している。専用システムのため、一旦機能不全に陥ると復旧までに長時間を要することから、用水の安定供給に支障が生じている。また、散水制御に係る電動弁は、モーター及びギヤ劣化の進行により補修を繰り返しており、維持管理に要する費用と労力の増加を招いている。								
	事業目的	地区全体の用水を一元管理する用水管理・散水制御システム等を更新し、維持管理費及び労力を低減するとともに、用水の安定供給により、品質の高い果樹の生産を維持する。								
事業概要	着手年度	2026年度(令和8年度)		事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2032年度(令和14年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	散水制御・用水管理システム更新 N=1式 電動弁更新 N=247箇所 剣沢ダム洪水吐補修 N=1式				1,120,000	560,000	252,000	277,000	31,000
	 平面図 ・剣沢ダム洪水吐補修 ・機器電源設備更新 N=1式 ・電動弁等更新 N=247箇所 ・用水管理・散水制御システム N=1式 (夜間瀬かんがい排水事業組合事務所) 凡 例 - 受益地(畑) 電動弁更新 - 受益地(畑) 電動弁更新済 - 受益地(田) - 幹線水路 - ファームポンド(FP) - 分水 故障で起動しない操作機器 劣化が進行した電動弁 ダム洪水吐の端部破断									
事業効果	主な受益対象	受益農地:331ha								
	期待される効果	作物の生産性向上 1,219→1,402 kg/10a(りんご) 営農経費の節減 321→284 千円/10a(りんご)				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.1			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	本地区で整備された施設は、地域計画で確認された担い手によって将来にわたり営農に活用されていく見込みである。また、町で農産物のブランド化を推進しており、本地区も産地として将来的に振興していくことを確認している。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	専用システムの機能不全による断水への懸念から、令和4年に施設を維持管理する夜間瀬かんがい排水事業組合から改修に向けた要望があり、県、町、組合で検討を重ねてきた。								
	事業説明等の経緯	R5年8月 組合等への説明会を開催(要望の把握、確認) R6年6月 説明会を開催(事業内容の確認、説明) R6年10月 説明会を開催(整備手法の共有)								
評価結果	農政部公共事業評価委員会の意見	本地区は、用水管理・散水制御システムやほ場の電磁弁の老朽化により、用水管理に支障が生じるなど維持管理負担が増加している。畑地かんがい施設の機能回復、用水の安定供給により高品質な果樹栽培を実現するため、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価※	優先度評価※		
	長野県公共事業評価委員会の意見	農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。					○	4.2		
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	県の評価案が妥当	評価の決定	事業着手				

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定

※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先)